

レジメン番号： 05- 001 / 乳腺1
 適応疾患：乳癌
 レジメン名：CMF

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	×	
2	メソトレキセート 生食(100) 点滴静注 30分	40 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	×	
3	フルオロウラシル 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	×	
	エンドキサン ※1 経口 1日1回朝食後に内服	100 mg/m ² /日	day1~14				

※1 エンドキサン錠(50)の投与量は、体表面積に応じて以下に従う。

- 1.5 m²未満:100 mg (2T)/日
- 1.5 m²以上:150 mg (3T)/日

レジメン番号： 05-002 / 乳腺2

適応疾患：乳癌

レジメン名：EC

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
3	エピルビシン ※1 75 or 90 mg/m ² 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	1 B	↑	×	×	
4	デキサート(6.6mg/2mL) ソルデム1(200) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	1 V 1 B	↑	×	×	
5	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
6	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 制吐療法として、治療翌日以降は必要に応じてデカドロン錠(0.5)を内服する。

※1 術前・術後化学療法：90 mg/m²、転移・再発症例：75 mg/m²とする。

レジメン番号： 05- 005 / 乳腺5
 適応疾患： 乳癌
 レジメン名： TC

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 15分	2 V 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆制吐療法として、day2～3はデカドロン錠(0.5)を1日16T服用する(適宜増減可)。

レジメン番号： 05- 006 / 乳腺6

適応疾患： 乳癌

レジメン名： Triweekly パクリタキセル

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	×	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	2 V 1 A 1 B	↑	×	×	
2	生食(100) 点滴静注 30分	1 B	↑	×	×	
3	パクリタキセル ※1 ソルデム1(500) 点滴静注 180分	200 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。
アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05- 007 / 乳腺7

適応疾患： 乳癌

レジメン名： Triweekly ドセタキセル

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	2 V 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	生食(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

レジメン番号： 05- 009 / 乳腺9

適応疾患：乳癌

レジメン名：Weekly パクリタキセル(3投1休)

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	1 V 1 A 1 B 15 分	↑	↑	↑	×	
2	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	↑	↑	×	
3	パクリタキセル ※1 ソルデム1(200) 点滴静注	90 mg/m ² 1 B 60 分	↑	↑	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	↑	↑	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。
アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05- 015 / 乳腺15
 適応疾患： HER2陽性乳癌
 レジメン名： パクリタキセル+トラスツズマブ(毎週)

化学療法内容

(1コース 1 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)	
			1	7
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 A 1 B	↑	
2	生食(100) 点滴静注 30分	1 B	↑	
3	パクリタキセル ※1 ソルデム1(200) 点滴静注 60分	80 mg/m ² 1 B	↑	
4	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	初回 4 mg/kg 2回目以降 2 mg/kg 1 B 1 B	↑	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	

◆ 計12回投与する。

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。
 アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05- 019 / 乳腺19
 適応疾患：乳癌
 レジメン名：ロゼウス

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ロゼウス ※1 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	25 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	ソルデム1(200) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 血管痛予防のため、必ず全開で投与し、投与後は十分な量の輸液でフラッシュする。

レジメン番号： 05- 021 / 乳腺21

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： トラスツズマブBS(3週毎)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	トラスツズマブBS	初回 8 mg/kg	↑	×	×	
		2回目以降 6 mg/kg				
	蒸留水(100)・・・溶解用	1 B				
	生食(250)	1 B				
	点滴静注	初回90分、2回目以降30分				
2	生食(50)	1 B	↑	×	×	
	点滴静注	全開でフラッシュ				

レジメン番号： 05- 023 / 乳腺23

適応疾患：乳癌

レジメン名：マイトマイシンC+メソトレキセート

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	×	↑	×	
2	マイトマイシン 生食(100) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	8 mg/m ² 1 B	↑	×	×	×	
3	メソトレキセート 生食(100) 点滴静注 30分	60 mg/m ² 1 B	↑	×	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	↑	×	

レジメン番号： 05- 025 / 乳腺25

適 応 疾 患： 乳 癌

レ ジ メ ン 名： ゲムシタビン(2投1休)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ゲムシタビン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	1250 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

レジメン番号： 05- 026 / 乳腺26

適応疾患： 乳癌

レジメン名： アブラキサン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
3	アブラキサン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	260 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 インラインフィルター使用不可。

レジメン番号： 05- 028 / 乳腺28
 適応疾患： 乳癌
 レジメン名： パクリタキセル+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	×	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	2 V 1 A 1 V 1 B	↑	×	×	
2	生食(100) 点滴静注 30分	1 B	↑	×	×	
3	パクリタキセル ※1 ソルデム1(500) 点滴静注 180分	175 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
4	カルボプラチン ※2 生食(250) 点滴静注 60分	6 (AUC) 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。
 アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。
 ※2 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量＝目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号： 05- 029 / 乳腺29

適応疾患： 乳癌

レジメン名： ドセタキセル+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	2 V 1 V 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	カルボプラチン ※1 生食(250) 点滴静注 60分	6 (AUC) 1 B	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量 = 目標AUC × (25 + GFR)

レジメン番号： 05- 033 / 乳腺33

適 応 疾 患：乳癌

レ ジ メ ン 名：ハラヴェン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ハラヴェン 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	1.4 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

レジメン番号： 05- 034 / 乳腺34

適応疾患： 乳癌

レジメン名： Weekly パクリタキセル+ベバシズマブBS

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 A 1 B	↑	↑	↑	×	
2	生食(100) 点滴静注 30分	1 B	↑	↑	↑	×	
3	パクリタキセル ※1 ソルデム1(200) 点滴静注 60分	90 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	
4	ベバシズマブBS 生食(100) 点滴静注 初回90分、2回目60分、以降30分	10 mg/kg 1 B	↑	×	↑	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。
アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05- 035 / 乳腺35

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： ハラヴェン+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ハラヴェン 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	1.4 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	
4	トラスツズマブBS 初回 2回目以降 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	8 mg/kg 6 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

レジメン番号： 05- 036 / 乳腺36

適 応 疾 患： HER2陽性乳癌

レ ジ メ ン 名： ドセタキセル＋パージェタ＋トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	パージェタ 生食(250) 点滴静注 初回60分、2回目以降30分	初回 840 mg/body 2回目以降 420 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15 分	2 V 1 B	↑	×	×	
4	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60 分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
5	生食(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 術前・術後療法の場合には、パージェタおよびトラスツズマブBSの投与期間は12ヶ月間までとする。

レジメン番号： 05- 038 / 乳腺38

適 応 疾 患： HER2陽性乳癌

レ ジ メ ン 名： カドサイラ

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	カドサイラ ※1 蒸留水(20)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	3.6 mg/kg 1 A 1 B	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 術後化学療法の場合には、投与回数は14回までとする。

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

レジメン番号： 05- 039 / 乳腺39

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： パクリタキセル(毎週)+パージェタ+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	
1	パージェタ 生食(250) 点滴静注	初回 840 mg/body 2回目以降 420 mg/body 1 B 初回60分、2回目以降30分	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B 1 B 初回90分、2回目以降30分	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	1 V 1 A 1 B 15 分	↑	↑	↑	
4	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	↑	↑	
5	パクリタキセル ソルデム1(200) 点滴静注	※1,2 60~100 mg/m ² 1 B 60 分	↑	↑	↑	
6	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	↑	↑	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。
アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

※2 海外Phase II studyではパクリタキセル 80mg/m²

レジメン番号： 05- 040 / 乳腺40

適 応 疾 患： HER2陽性乳癌

レ ジ メ ン 名： TC+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 15分	2 V 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
4	トラスツズマブBS 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 制吐療法として、day2～3はデカドロン錠(0.5)を1日16T服用する(適宜増減可)。

レジメン番号： 05- 041 / 乳腺41

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： ドセタキセル＋トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	2 V 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	生食(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
4	トラスツズマブBS 初回 2回目以降 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	8 mg/kg 6 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

レジメン番号： 05- 042 / 乳腺42

適応疾患： 乳癌

レジメン名： dose dense EC

化学療法内容

(1コース 2 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)		
			1	8	14
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	
3	エピルビシン 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	90 mg/m ² 1 B	↑	×	
4	デキサート(6.6mg/2mL) ソルデム1(200) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	1 V 1 B	↑	×	
5	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	
6	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	

- ◆ 化学療法終了24時間後以降にジーラスタを投与する。
- ◆ 制吐療法として、治療翌日以降は必要に応じてデカドロン錠(0.5)を内服する。

レジメン番号： 05- 043 / 乳腺43

適応疾患： 乳癌

レジメン名： Weekly パクリタキセル(毎週)

化学療法内容

(1コース 1 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)	
			1	7
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 A 1 B	↑	
2	生食(100) 点滴静注 30分	1 B	↑	
3	パクリタキセル ※1 ソルデム1(200) 点滴静注 60分	80 mg/m ² 1 B	↑	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	

◆ 術前・術後の場合は計12回投与する。

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。
アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05- 045 / 乳腺45

適 応 疾 患： HER2陽性乳癌

レ ジ メ ン 名： ドセタキセル＋カルボプラチン＋トラスツズマブBS(3週毎)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	2 V 1 V 1 B	↑	×	×	
2	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	カルボプラチン ※1 生食(250) 点滴静注 60分	6 (AUC) 1 B	↑	×	×	
4	トラスツズマブBS 初回 2回目以降 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	8 mg/kg 6 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量＝目標AUC×(25＋GFR)

レジメン番号： 05- 046 / 乳腺46

適応疾患： 乳癌

レジメン名： AC

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	×	×	
2	ドキシソルピシン 生食(50) 点滴静注 15分	60 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
3	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 制吐療法として、治療翌日以降は必要に応じてデカドロン錠(0.5)を内服する。

レジメン番号： 05- 047 / 乳腺47

適応疾患： 乳癌

レジメン名： イリノテカン(添付文書A法)

化学療法内容

(1コース 5 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	29
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) グラニセトロンバッグ(3mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	↑	↑	×	×
2	イリノテカン ソルデム1(200) 点滴静注 90分	100 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	×
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	×

レジメン番号： 05- 048 / 乳腺48

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： TC+パージェタ+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	パージェタ 生食(250) 点滴静注 初回60分、2回目以降30分	初回 840 mg/body 2回目以降 420 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 15分	2 V 1 B	↑	×	×	
4	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
5	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
6	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

- ◆ 術前・術後療法の場合には、パージェタおよびトラスツズマブBSの投与期間は12ヶ月間までとする。
- ◆ 制吐療法として、day2～3はデカドロン錠(0.5)を1日16T服用する(適宜増減可)。

レジメン番号： 05- 049 / 乳腺49

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： ドセタキセル+カルボプラチン+パージェタ+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	パージェタ 初回 2回目以降 生食(250) 点滴静注 初回60分、2回目以降30分	840 mg/body 420 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 初回 2回目以降 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	8 mg/kg 6 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	2 V 1 V 1 B	↑	×	×	
4	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
5	カルボプラチン ※1 生食(250) 点滴静注 60分	6 (AUC) 1 B	↑	×	×	
6	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 術前・術後療法の場合には、パージェタおよびトラスツズマブBSの投与期間は12ヶ月間までとする。

※1 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量=目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号： 05- 050 / 乳腺50

適応疾患： 乳癌

レジメン名： dose dense パクリタキセル

化学療法内容

(1コース 2 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)		
			1	8	14
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	×	
1	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	※1 2 V 1 V 1 B 15 分	↑	×	
2	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	×	
3	パクリタキセル ソルデム1(500) 点滴静注	※2 175 mg/m ² 1 B 3 時間	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	×	

◆ day2またはday3にジーラスタを併用する。

※1 初回投与は2V、忍容性良好ならば2回目以降1Vに減量可。

※2 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05- 051 / 乳腺51

適応疾患： 乳癌

レジメン名： XC

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	カペシタビン 経口	1657 mg/m ² /日	day1~14			
	1日2回朝・夕に分けて内服					
	エンドキサン 経口	65 mg/m ² /日	day1~14			
	1日2回朝・夕に分けて内服					

レジメン番号： 05- 053 / 乳腺53

適 応 疾 患： PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発

レ ジ メ ン 名： テセントリク+アブラキサン

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)				
			1	8	15	22	28
1	テセントリク 生食(250) 点滴静注 初回60分、2回目以降30分	※1 840 mg/body 1 B	↑	×	↑	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	↑	×	
3	アブラキサン 生食(50) 点滴静注 30分	※2 100 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。初回投与時60分、忍容性良好ならば2回目以降30分に短縮可。

※2 インラインフィルター使用不可。

レジメン番号： 05- 054 / 乳腺54

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： ゲムシタビン+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ゲムシタビン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	1250 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	
4	トラスツズマブBS 初回 2回目以降 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	8 mg/kg 6 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

レジメン番号： 05- 056 / 乳腺56

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： アブラキサン+パージェタ+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	22
1	パージェタ 生食(250) 点滴静注 初回60分、2回目以降30分	初回 840 mg/body 2回目以降 420 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
5	アブラキサン 生食(100) 点滴静注 30分	※1 260 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
6	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 インラインフィルター使用不可。

レジメン番号： 05- 057 / 乳腺57

適応疾患：HER2陽性乳癌

レジメン名：エンハーツ

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	×	×	
2	5%ブドウ糖(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
3	エンハーツ ※1 蒸留水(20)・・・溶解用 5%ブドウ糖(100) 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	5.4 mg/kg 1 B 1 B	↑	×	×	
4	5%ブドウ糖(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

※1 エンハーツ投与時はインラインフィルターを用い、点滴バッグを遮光する。

レジメン番号： 05- 058 / 乳腺58

適応疾患： 乳癌

レジメン名： ゲムシタビン+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) グラニセトンバッグ(3mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	↑	×	
2	ゲムシタビン ※1 生食(100) 点滴静注 30分	1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
3	カルボプラチン ※2 生食(250) 点滴静注 60分	2 (AUC) 1 B	↑	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

※2 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量＝目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号： 05- 059 / 乳腺59

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： パクリタキセル(3週毎)+パージェタ+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	×	×	
1	パージェタ 生食(250) 点滴静注	初回 840 mg/body 2回目以降 420 mg/body 1 B 初回60分、2回目以降30分	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 生食(250) 点滴静注	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B 1 B 初回90分、2回目以降30分	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	2 V 1 A 1 B 15 分	↑	×	×	
4	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	×	×	
5	パクリタキセル ※1 ソルデム1(500) 点滴静注	175 mg/m ² 1 B 180 分	↑	×	×	
6	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	×	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。
アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05- 060 / 乳腺60

適応疾患： PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発

レジメン名： キイトルーダ(3週毎)+ゲムシタビン+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注 30分	※1 200 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) グラニセトンバッグ(3mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	↑	×	
3	ゲムシタビン 生食(100) 点滴静注 30分	※2 1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
4	カルボプラチン 生食(250) 点滴静注 60分	※3 2 (AUC) 1 B	↑	↑	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

※3 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量＝目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号： 05- 061 / 乳腺61

適応疾患： PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌

レジメン名： キイトルーダ(3週毎)+パクリタキセル

化学療法内容

(1コース 12 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)											
			1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注	※1 200 mg/body 1 B 30 分	↑	×	×	↑	×	×	↑	×	×	↑	×	×
2	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	1 V 1 A 1 B 15 分	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
3	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
4	パクリタキセル ソルデム1(200) 点滴静注	※2 90 mg/m ² 1 B 60 分	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
5	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。
アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05- 062 / 乳腺62

適 応 疾 患： PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌

レ ジ メ ン 名： キイトルーダ(3週毎)+アブラキサン

化学療法内容

(1コース 12 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)											
			1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注 30分	※1 200 mg/body 1 B	↑	×	×	↑	×	×	↑	×	×	↑	×	×
2	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
4	アブラキサン 生食(50) 点滴静注 30分	※2 100 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 インラインフィルター使用不可。

レジメン番号： 05- 063 / 乳腺63

適応疾患： PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発

レジメン名： キイトルーダ(6週毎)+ゲムシタビン+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 6 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)						
			1	8	15	22	29	36	42
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注 30分	※1 400 mg/body 1 B	↑	×	×	×	×	×	
2	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) グラニセトンバッグ(3mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	↑	×	↑	↑	×	
3	ゲムシタビン 生食(100) 点滴静注 30分	※2 1000 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	↑	↑	×	
4	カルボプラチン 生食(250) 点滴静注 60分	※3 2 (AUC) 1 B	↑	↑	×	↑	↑	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	↑	↑	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 副作用予防のため、必ず30分間で投与する。血管痛がある場合は、溶解液を5%ブドウ糖に変更する。

※3 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量 = 目標AUC × (25 + GFR)

レジメン番号： 05- 064 / 乳腺64

適 応 疾 患： PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌

レ ジ メ ン 名： キイトルーダ(6週毎)+パクリタキセル

化学療法内容

(1コース 12 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)											
			1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78
	レスタミンコーワ錠(10)	5 T	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
	経口	パクリタキセル開始30分前に内服												
1	キイトルーダ	※1 400 mg/body	↑	×	×	×	×	×	↑	×	×	×	×	×
	生食(100)	1 B												
	点滴静注	30 分												
2	デキサート(6.6mg/2mL)	1 V	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
	ファモチジン(20mg/2mL)	1 A												
	生食(50)	1 B												
	点滴静注	15 分												
3	生食(100)	1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
	点滴静注	30 分												
4	パクリタキセル	※2 90 mg/m ²	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
	ソルデム1(200)	1 B												
	点滴静注	60 分												
5	生食(50)	1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×
	点滴静注	全開でフラッシュ												

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。
アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

レジメン番号： 05- 065 / 乳腺65

適 応 疾 患： PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌

レ ジ メ ン 名： キイトルーダ(6週毎)+アブラキサン

化学療法内容

(1コース 12 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)												
			1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78	84
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注 30分	※1 400 mg/body 1 B	↑	×	×	×	×	×	×	↑	×	×	×	×	×
2	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	
3	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	
4	アブラキサン 生食(50) 点滴静注 30分	※2 100 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	↑	↑	↑	×	

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 インラインフィルター使用不可。

レジメン番号： 05- 066 / 乳腺66

適 応 疾 患：ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌

レ ジ メ ン 名：キイトルーダ+パクリタキセル(毎週)+カルボプラチン

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T	↑	↑	↑	
	パクリタキセル開始30分前に内服					
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注	※1 200 mg/body 1 B	↑	×	×	
	30 分					
2	生食(50) 点滴静注	1 B	↑	×	×	
	全開でフラッシュ					
3	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注	1 V 1 A 1 V 1 B	↑	×	×	
	30 分					
4	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) 生食(50) 点滴静注	1 V 1 A 1 B	×	↑	↑	
	15 分					
5	生食(100) 点滴静注	1 B	↑	↑	↑	
	30 分					
6	パクリタキセル ソルデム1(200) 点滴静注	※2 80 mg/m ² 1 B	↑	↑	↑	
	60 分					
7	カルボプラチン 生食(250) 点滴静注	※3 5 (AUC) 1 B	↑	×	×	
	60 分					
8	生食(50) 点滴静注	1 B	↑	↑	↑	
	全開でフラッシュ					

◆ 術前化学療法として4コース行う。

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

※3 投与量はカルパートの式に従う。カルボプラチン投与量＝目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号： 05-067 / 乳腺67
 適応疾患： ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌
 レジメン名： キイトルーダ+EC

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	キイトルーダ ※1 生食(100) 点滴静注 30分	200 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 V 1 B	↑	×	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	
5	エピルピシン 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	90 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
6	デキサート(6.6mg/2mL) ソルデム1(200) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	1 V 1 B	↑	×	×	
7	エンドキサン 生食(100) 点滴静注 30分	600 mg/m ² 1 B	↑	×	×	
8	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 術前化学療法として4コース行う。
 ※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

レジメン番号： 05- 068 / 乳腺68

適応疾患： ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌

レジメン名： キイトルーダ(3週毎)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	キイトルーダ ※1 生食(100) 点滴静注 30分	200 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 術後化学療法として9回までとする。
※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

レジメン番号： 05- 069 / 乳腺69

適応疾患： ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌

レジメン名： キイトルーダ(6週毎)

化学療法内容

(1コース 6 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)						
			1	8	15	22	29	36	42
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注 30分	※1 400 mg/body 1 B	↑	×	×	×	×	×	×
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	×	×	×	×

◆ 術後化学療法として5回までとする。
※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

レジメン番号： 05- 070 / 乳腺70

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： ロゼウス+パージェタ+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	パージェタ 生食(250) 点滴静注 初回60分、2回目以降30分	初回 840 mg/body 2回目以降 420 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
4	ロゼウス 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	※1 25 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
5	ソルデム1(200) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 血管痛予防のため、必ず全開で投与し、投与後は十分な量の輸液でフラッシュする。

レジメン番号 : 05-071 / 乳腺71

適応疾患 : HER2陽性乳癌

レジメン名 : ハラヴェン+パージェタ+トラスツズマブBS

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	パージェタ 生食(250) 点滴静注 初回60分、2回目以降30分	初回 840 mg/body 2回目以降 420 mg/body 1 B	↑	×	×	
2	トラスツズマブBS 蒸留水(100)・・・溶解用 点滴静注 初回90分、2回目以降30分	初回 8 mg/kg 2回目以降 6 mg/kg 1 B	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	1 V 1 B	↑	↑	×	
4	ハラヴェン 生食(50) 点滴静注 全開(ポンプ使用しない)	1.4 mg/m ² 1 B	↑	↑	×	
5	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

レジメン番号： 05- 072 / 乳腺72

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： フェスゴ配合皮下注

化学療法内容【1コース目】

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	フェスゴ配合皮下注IN 皮下注 ※1 8分以上かけて投与	1 B	↑	×	×	

化学療法内容【2コース目以降】

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	フェスゴ配合皮下注MA 皮下注 ※1 5分以上かけて投与	1 B	↑	×	×	

◆ 術前・術後薬物療法の場合には、フェスゴの投与期間は12ヶ月までとする。

※1 同一部位に繰り返し投与することは避け、左右の大腿部に交互に投与すること。

レジメン番号： 05- 073 / 乳腺73

適 応 疾 患：ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌

レ ジ メ ン 名：キイトルーダ+パクリタキセル(毎週)+カルボプラチン(毎週)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T パクリタキセル開始30分前に内服	↑	↑	↑	
1	キイトルーダ 生食(100) 点滴静注	※1 200 mg/body 1 B 30 分	↑	×	×	
2	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	×	×	
3	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) グラニセトロンバッグ(3mg/50mL) 点滴静注	1 V 1 A 1 B 15 分	↑	↑	↑	
4	生食(100) 点滴静注	1 B 30 分	↑	↑	↑	
5	パクリタキセル ソルデム1(200) 点滴静注	※2 80 mg/m ² 1 B 60 分	↑	↑	↑	
6	カルボプラチン 生食(250) 点滴静注	※3 1.5 (AUC) 1 B 60 分	↑	↑	↑	
7	生食(50) 点滴静注	1 B 全開でフラッシュ	↑	↑	↑	

◆ 術前化学療法として4コース行う。

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。

※2 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。

アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

※3 投与量はカルバートの式に従う。カルボプラチン投与量=目標AUC×(25+GFR)

レジメン番号： 05-074 / 乳腺74

適応疾患： HER2陽性乳癌

レジメン名： ドセタキセル＋フェスゴ

化学療法内容【1コース目】

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	フェスゴ配合皮下注IN 皮下注 ※1 8分以上かけて投与	1 B	↑	×	×	
2	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	2 V 1 B	↑	×	×	
3	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ²	↑	×	×	
4	生食(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

化学療法内容【2コース目以降】

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	フェスゴ配合皮下注MA 皮下注 ※1 5分以上かけて投与	1 B	↑	×	×	
2	デキサート(6.6mg/2mL) 生食(50) 点滴静注 15分	2 V 1 B	↑	×	×	
3	ドセタキセル 生食(250) 点滴静注 60分	75 mg/m ²	↑	×	×	
4	生食(100) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	×	×	

◆ 術前・術後薬物療法の場合には、フェスゴの投与期間は12ヶ月までとする。

◆ フェスゴ投与後は初回30分、2回目以降は15分の経過観察を行い、Infusion reactionの症状があらわれていないことを確認した後に次の薬剤の投与を開始すること。

ただし、忍容性が良好であれば2回目以降の観察時間は短縮可。

※1 同一部位に繰り返し投与することは避け、左右の大腿部に交互に投与すること。

レジメン番号 : 05-075 / 乳腺75
 適応疾患 : ホルモン受容体陰性かつHER2陰性の乳癌
 レジメン名 : トロデルビ

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与スケジュール(日)			
			1	8	15	21
1	デキサート(6.6mg/2mL) ファモチジン(20mg/2mL) アロカリス(235mg/10mL) パロノセトロンバッグ(0.75mg/50mL) 点滴静注 30分	1 V 1 A 1 V 1 B	↑	↑	×	
2	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	
3	トロデルビ ※1 生食(250) 点滴静注 初回3時間、2回目以降1時間	10 mg/kg 1 B	↑	↑	×	
4	生食(50) 点滴静注 全開でフラッシュ	1 B	↑	↑	×	

※1 トロデルビの濃度が1.1~3.4 mg/mLとなるように調製する(体重85kg以上の場合、生理食塩液(500)を使用)
 投与時は点滴バッグを遮光する。